

令和5年度 家畜防疫・衛生指導対策事業に係る
地域自衛防疫活動推進（防疫演習）開催要領

令和5年8月15日
一般社団法人岐阜県畜産協会

豚熱については令和元年9月以降岐阜県内での発生はないものの、野生いのししの感染増加傾向にある。また、高病原性鳥インフルエンザについては、昨シーズン国内において26道県84事例の発生が確認され、過去最大の1,700万羽以上が殺処分された。

このように野性のいのししによる豚熱ウィルスの拡散や渡り鳥の飛来シーズンを迎えるなど感染リスクが高まる中、関係者の家畜衛生のさらなる向上及び防疫体制の強化を図ることを目的に岐阜県と共催し、下記のとおり防疫演習を開催する。

記

- 1 開催日時 令和5年9月14日（木） 13:30～16:30
- 2 開催場所 ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール
（岐阜市学園町3丁目42番地）
- 3 参集範囲 国、隣接県、県関係機関、市町村、関係団体、生産者 等
- 4 演習内容
 - (1) 基調講演
「イノシシの生態と豚熱対策」
講師：宇都宮大学雑草管理教育研究センター 准教授 小寺 祐二 氏
 - (2) 講演
「高病原性鳥インフルエンザ発生農場における効率的な殺処分方法の検討」
講師：茨城県県西家畜保健衛生所 衛生指導課長 赤上 正貴 氏
「高病原性鳥インフルエンザ防疫対応における焼却業務について（仮）」
講師：茨城県畜産センター 副センター長 小堤 万里子 氏
 - (3) 演習
「防疫措置におけるバイオセキュリティの確保（防護服の着脱等）」
講師：岐阜県農政部家畜防疫対策課職員
- 5 開催経費
開催費用については、県及び協会負担
協会負担分は家畜防疫・衛生指導対策事業にて対応